



93年 4月 4日

No. 97

東京都腎臓病患者連絡協議会 (東腎協)

事務局・〒161 東京都

郵便振替口座

電話

FAX

昭和四十一年八月七日第三種郵便物認可
 SSKA通巻二〇六七号(毎月六回)の百六の日
 一九九三年二月二十一日発行

第21回総会議案集

東腎協第21回

総会次第

開会あいさつ

議長団選出

会長あいさつ

〈報告事項〉

活動報告、決算報告

監査報告

〈審議事項の提案〉

活動方針案、予算案

スローガン案

総会宣言案

新役員選出

閉会のあいさつ

〈総会終了後、記念

講演〉

第21回総会のご案内

東腎協規約第六条により、左記の通り第二十一回総会を戸山サンライズにおいて開催します。会員・家族の皆さん、お誘いのない、ご参加下さい。

記

日時 平成5年4月4日(日) 午前10時開場

次第 第21回総会(午前10時30分から)

記念講演(午後2時から)

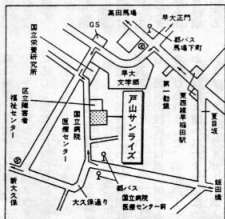
「透析患者の骨の病気」

講師・小椋陽介(虎の門病院腎センター部長)

会場 戸山サンライズ(新宿区戸山1-22-1)

☎(03)3204)3611

※総会は午前10時30分から行われますので参加者には昼食を用意します。又、参加者はこの議案書を必ずご持参下さい。
 (交通) 地下鉄東西線早稲田駅下車8分
 (駐車場) 会館地下に無料駐車場設備があります。



平成四年度活動報告(案)

はじめに

(1) 東腎協の結成

東腎協は二十年前の昭和四十七年十一月十九日に主に東京都への運動体として、全腎協の方針に基づき結成されました。

その全腎協は、前年の六月に結成されており、東京都への運動も積極的に進めていきました。その結果、全国にさきをかけて透析治療費の自己負担の半額補助を勝ち取っていたしました。また、全国的にも、昭和四十七年の十月には全腎協の運動で、透析に更生医療が適用され「金の切れ目が命の切れ目」という状況は一応脱してはいました。しかし、人工腎臓の絶対的不足など、透析患者の状況は、今日とは比べようもない厳しい時代でした。

(2) 基本的な要求とその実現

このような中で東腎協は結成後、①腎疾患の早期発見・早期治療体制の確立②腎炎等の長期療養者の医療費公費負担③総合腎センターの設置④専門医療関係者の充実⑤社会復帰対策の促進を活動目標として掲げ、活発な活動を始めました。

当時、身体的にも非常に苦しい中で、活動は困難を極めました。が、当時の活動家の熱意が表り、小児慢性腎疾患の医療費補助、心身障害者の医療費自己負担の助成、心身障害者福祉手当の支給、ネフローゼ症候群の医療費助成、都立大久保病院への腎不全センターの設置など、数々の施策を勝ち取ってきました。

(3) 医療技術の進歩と患者の生活

この二十年の間に透析の医療技術も大きく前進し、ダイアライザ

ーは、より効率のよいものへ、生体適合性の優れたものへの改良、透析用水や透析液の改善、合併症治療薬の開発など、様々な進歩がありました。

このような中で透析患者の生活の質も大きく変わりました。東腎協発足当時の単なる延命医療ではなく、よりよく生きるための「生活の質」を求める医療となつてきています。そして、治療方法も血液透析、CAPD、そして腎移植は未だ希望すればいつでも出来るという段階ではないにしろ、一応、それぞれの生活にあわせ、選択の巾は広がってきました。

(4) 医療費受益者負担の方向

それでは、私たちの「生命と暮らし」は、今後永遠に保障されるのでしょうか。いま、政府は、医療費における国の負担分を少なくすることに必至になっています。

老人医療費の状況は国の医療費抑制策を端的に現わしています。昭和四十年代後半、国は地方自治体の老人医療無料化に引きづられるようにして無料化を実施しました。しかし、たったの十年後には

有料化に戻り、その後、自己負担額の増額、定額方式の導入、そして、平成七年からは物価スライドに応じて自動的に自己負担が増やされることになっています。

(5) 新たな問題

透析の医療費については現在、実質無料で行われています。しかし、透析の技術料は過去何度も引き下げられました。昭和六十一年からは据え置かれたままになっています。ダイアライザーの購入価格にいたっては、医療費改定の度に引き下げられているのが現状です。また、昨年は、透析の検査料（医学管理料）の定額化が導入されました。

透析患者の今日的課題としては、患者の高齢化問題があります。現在集計中の実態調査でも、七十歳以上の会員は全会員の二二%を占めており、最高年齢は九十二歳という数字が出ています。

長期透析者も確実に増加しています。透析療法学会の資料によれば、透析十年以上の患者は、全患者の二〇%と報告されており、こうした事実も、介護の必要な透析患者に対する対策の充実が緊急か

つ重要な問題ということを実現しています。

腎移植の問題については、「死臨調」の答申から一年が過ぎ、脳死と臓器移植における全国的な論議の中で、心臓死でも実施できる死体腎移植の臨床数は、以前よりかえって減少傾向にあるとさえいわれています。

(6) 一人ひとりが問題意識を持って運動を進めよう

このような状況を見てくださいと、この二十年間の患者会活動での成果は、大いに評価してよいのではないのでしょうか。現在、私たちが受けている透析医療は、医学的にも、社会的にもある一定のレベルに達した段階にきています。私たちは、自らの運動で、生命に対する危機感、経済的な危機感を回避したのです。しかし、それが、患者各自の希求力の低下となって患者運動に対する「無関心層」の増加という皮肉な結果につながっています。

私たちの今後は、これからの活動いかんでは老人医療の「二の舞」という危険性も十分考えうることとなります。今年度、いくつつかの

会で、「無関心層」の増大や、役員の高齢化、長期透析の合併症の併発と相まって患者会活動が停滞し、休会を余儀なくされるという状態になっています。

病院単位の患者会活動が停滞すれば、東腎協の活動が鈍ってきます。

このように、患者会活動は非常に重要な時期にきています。ひとり一人が問題意識を持つことがいま一番求められていることです。

主な活動と成果

(1) 東京都に対する要請活動

東腎協は昨年六月二十五日、平成五年度東京都予算編成に向けて要請活動を行い、衛生局など腎疾患対策に関係する四局・一庁・一院に対して二十七項目の要望の実現を要請しました。

衛生局については、検尿による腎臓病の早期発見・早期治療体制の確立や、今年七月に新築開院する都立大久保病院での成人に対する腎移植の実施、看護婦不足が問題になっていることから看護婦な

どの医療スタッフの確保などを要望しました。

福祉局へは心身障害者福祉手当の大幅増額や、有料道路料金割引を内部障害者も対象とすること、介護の必要な透析患者に対する施策の充実などを要望しました。

総務局へは現在の「身体障害者に対する採用試験」制度を引き続き存続し、東京都の雇用率の目標三％（法定雇用率は二％）を、五％に引き上げるよう要望しました。

労働経済局へは腎機能障害者の雇用先の拡充を、教育庁へは児童・生徒の検尿による腎臓病の早期発見・早期治療と予後の管理を、養育院には、板橋の老人医療センターにおける透析の実施を、また、多摩老人医療センターについては、透析の拡充を要望しました。

また、東腎協では、都議会の各会派へも同様の要望をしましたが、このうち、社会党と公明党からは「ヒヤリング」というかたちで直接議員へ要請する機会を設定していただきました。移植については、大久保病院で成人の移植に取り組みむといった積極的な発言もありました。

こうした活動の結果、一月二十二日に発表された平成五年度都予算知事原案では腎臓・角膜及び骨髄移植推進キャンペーン費、二千六百五十一万七千円、腎臓病を考える都民の集い費三百五十五万九千円、死体腎移植JLA検査費補助費二百六十五万五千円など、腎不全対策費は、昨年度とほぼ同額となっております。

福祉局では心身障害者福祉手当の増額（現在月額一万三千五百円が四月一日より一万四千元）が認められました。

(2) 20周年記念事業

東腎協は昨年十一月十九日で結成二十周年を迎えましたが、記念事業として次のような多彩な活動を行いました。

① シンポジウム

東腎協第二十回総会は昨年四月五日に開かれ、総会後に「透析医療」20年の成果と今後の展望」と題して記念シンポジウムを開催しました。

当日の司会は泉山知威会長が、とめ、シンポジストは虎の門病院・三村信英院長、都衛生局・金田麻里子課長、二十三年透析・移植

後一年の岡本眺さん、透析一年の小池まどかさん、透析十九年の林田洋子さん、慢性腎炎二十五年の三井名洋さんで構成され具体的な内容で好評です。この模様は東腎協機関誌九十五号で紹介しました。

②腎臓病を考える都民の集い

第六回目の「腎臓病を考える都民の集い」は六月二十八日、新宿の住友ホールで開催され、東腎協会員を始め二百七十八人が参加しました。

「集い」は今年度も松村満美子さんの司会で行われ、「やさしい腎臓病の話」と題して東京都多摩老人医療センターの中川成之輔先生の講演、また、日本医科大学の村上睦美先生には小児科医の立場として、「腎臓病の予防と早期発見・早期治療」と題する講演をしていただきました。

また、東腎協が二十周年ということから東腎協のこれまでの運動を「集い」の中に折り込むことになり、「腎臓病対策に対する患者会の果たした役割」と題して糸賀久夫副会長が講演しました。

今回の「集い」では、医療関係と見られる方の参加も多く、また、

医療相談も受診者が二十三件に上り、私たち主催者側の意図する「集い」になりつつあるという感じを持ちました。

③大ゲーム大会

東腎協会員交流会は、今年度は二十周年を記念して昨年九月二十七日に「大ゲーム大会」として戸山サンライズ体育館で開催しました。東腎協としては初めての試みであり、準備が大変でした。総合司会は堀常任幹事と竹田副会長が担当し、村田青年部長の選手宣誓して始まりました。

ゲームはブロック対抗と個人戦で行われ、パン食い競走、ボール送りなど九種目が行われました。とても皆、透析患者とは思えない動きぶりでした。個人戦では入賞者一人一人に東山会長から記念品が贈られ、表彰の音楽も本格的で大いに盛り上がりました。

最後に団体戦優勝の多摩ブロックに記念品が授与され、無事にゲームを終え、大変に喜んでいただきました。来年もという声も大きく聞かれましたが、今後の開催については、会員拡大・交流委員会などで検討することになっていきます。

④祝賀パーティー

東腎協では十一月の結成二十周年にあわせて昨年の十一月二十九日に祝賀パーティーをアルカディア市ヶ谷(旧私学会館)で開催しました。

パーティーは内部的な催しとして行われ、東腎協の初期の活動を支えた役員、事務局員、歴代会長夫人、関東ブロック、全腎協の方々を招待しました。東腎協加盟患者会からは百二十三人が参加し、親しみのある会合となりました。

会の進行は堀常任幹事が行い、「思い出タイム」では糸賀副会長が司会を引継ぎ、東腎協の初期の役員の方々から結成のころの思い出話が紹介されました。

アトラクションとして竹田副会長のマジック、あけほの友の会の菊池さんの参加する「猫進進」というバンドの素晴らしい演奏がありました。富くじの抽選も行われ、華やいだ楽しい催しで大変好評でした。

⑤会員拡大

東腎協ではこの二十周年に会員拡大を記念事業の一環として取組み、四月の全腎協組織強化月間にあわせて二十周年入会のチラシを

作るなど強力な運動を展開しました。この結果、今年度四つもの患者会が新たに加入し、四百五十人の新会員を迎えました。

しかし、閉院する病院、役員が病気のため運営が出来なくなる会も合わせて四患者会、また、運動が停滞して会員の減っている会もあり、昨年度末の四千九百九十人(患者会数八十三)から五千六十人(患者会数八十三)の七十人増にとどまりました。会員拡大・交流委員会ではこの結果をふまえて来年度に向けて、未組織病院訪問、会員の減っている患者会の訪問など具体的な活動をすすめています。

⑥東腎協20年誌「あゆみ」

二十年誌「あゆみ」は十年誌と同様に記念誌編集委員会を設けて取り組みました。編集委員は機関誌の編集委員会のメンバー八人と教宣委員会からの二人を加え、十人で構成され、加藤編集委員長を中心に泊まり込み会議を含めて十回の会議を重ねました。

「あゆみ」の内容としては、一、座談会「透析十七年の泣き笑い」、二、東腎協運動を明日に托して、(一)東腎協をリードした会長物

語(2)私の患者運動一隅記(3)運動を通して考える社会福祉(3)十年前と、今を生きている十年前に手記を寄せた人へのインタビュー、四、わたしの闘病記一透折一年、十年、十五年、二十年、二十年以上の方々の体験手記、五、資料一東腎協の二十年の年表などで、七千部印刷しました。

東腎協会員全員に無料配布され、会員の方々より、二十年前の透折の状況が良くわかり、大変勉強になったなど感想が寄せられています。本の紹介で読売新聞にも掲載され、全国各地から注文が届いています。

⑦患者会がつくった「腎臓病ブックレット」

腎疾患対策推進委員会が企画し、患者側から作成する腎臓病の解説書。現在、作成中で一般の人たちに腎臓病のことを良く知っていただくに腎臓病の、できるだけ難しい用語を使わず、判り易い内容に仕上げる方向で進めています。

内容としては、一、腎臓の構造と働き、二、腎臓病の解説、三、腎臓病のQ&A、四、患者の体験手記です。一と二については杏林大学教授の長沢俊彦先生に執

筆をお願いしました。発行部数は二千部で、各患者会、保健所や一般部民の希望者等に配布します。

⑧会員実態調査
前回は結成十周年に全会員対象に行いましたが、今回も全会員対象に昨年、十月一日付で実施しました。会員の皆さんのご協力により回収率は発送数五千三十四通に対して回収数三千五百四十二通で七〇・四%でした。今回の実態調査には要介護透折の問題など新しい項目も含まれています。実態調査はまた次第報告書を発行します。また、主要な項目については、機関誌「東腎協」でもお知らせします。

以上のような二十周年の取組みが行われましたが、編集委員会が企画していた透折病院のモデルが「エンケート」については実態調査と重なるため、また、二十年誌の取組みがあり時間的に難しいことから来年度、機関誌の中で取り組むことになりました。

なお、東腎協二十周年記念事業を成功させるための協賛金については、四十六件、四百二十五千六百四十六円のご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

(3)腎移植推進キャンペーン

第六回目の「腎臓・角膜及び骨髄移植推進キャンペーン」は昨年十月十八日、東腎協、東京都、東京都医師会、東京都眼科医会、ライオンズクラブ、腎臓移植普及会、アイバンク、骨髄移植推進財団の主催で、上野公園と小金井公園の二カ所で行われました。

上野会場では、アトラクションミニコンサートやアトラクションが華やかに繰り広げられる中で、東腎協会員百四十四人の他、東京都職員、ライオンズクラブなどからも大勢が参加し、献腎パンフレットなど四千五百組を配布して、腎バンクへの登録を訴えました。

毎年行っている腎臓病の医療相談は、虎の門病院から鈴木好夫、横山啓太郎の両先生にご協力をいただきました。また、血圧測定は今年も上野病院の四人の看護婦さんにご協力いただき大変に好評でした。

小金井会場は、上野公園に準じてセレモニヤやアトラクションが行われ、東腎協からは会員百十人が参加し、献腎パンフレットなど一千五百組を配布して、腎バンク

への登録を訴えました。

医療相談は杏林大学病院の有村義広先生に、また、血圧測定は国分寺南口クリニックの看護婦さん二人のご協力を得ました。

今回のキャンペーンでは、当日の登録者が七十四人にも上り、これまででない大きな成果を上げることができました。また、医療相談を受けた人は二十七人、血圧測定を受けた人も三百八十三人に上りました。

今回は、東京都主導という色合いが強くなり、今年から骨髄移植の推進という新たな課題も加わってきました。アトラクションも従来より少し派手目になった感じもします。このような中で、今後、キャンペーンにおける東腎協の役割について、再検討する時期に来ていることを感じました。

(4)国会請願運動

①第21次国会請願署名募金運動
「腎疾患総合対策の早期確立を要望」する全腎協の第二十二次国会請願行動は昨年三月二十六日に行われ、全国から各県を代表して百八十一人が衆議院第二議員会館会議室に集まりました。

この行動では、各都道府県別に別れ、全国から集められた八十万人の署名簿を持って、厚生委員を中心に衆・参両院の二百四十人の議員の部屋を訪ね、両院へ提出する紹介議員のお願いをしました。

東腎協からも二十人が参加しました。この請願は昨年六月の第百二十三国会で採択されました。

JPCの国会請願は、昨年六月八日に行われ、五十五万人の署名簿を、衆参両院の百二十人の国会議員に院への提出を託しました。この行動にも東腎協から八人が参加しました。

また、東腎協は、今年度も全腎協の第二十二次国会請願署名・募金運動と、JPCの「難病患者などの医療と生活の保障」を要望する国会請願・署名運動に取り組みました。その結果、二月四日現在、全腎協の署名数は、三万八千七百八十三人、JPCの署名数は三万八千七百七十一人となっています。そして、募金額は三百七十一万四千二百五十八円で、このうち百十七万七千円を全腎協に納入しました。

なお、今年度の請願行動は、全腎協が三月二十五日、JPCは六

月七日に予定されています。
②有料道路料金割引運動について

全腎協の第二十二次国会請願行動と同じ昨年三月二十六日、「有料道路通行料身体障害者割引制度に対する内部障害者等への適用拡大」を要望する請願行動も行われました。

当日は、東京、千葉、埼玉の代表が中心となって、全国から集まった十八万人の署名を五十一人の議員に託し、衆・参両院への提出を要請しました。この署名活動は、東腎協では平成三年秋取り組んだもので、一万三百八十八人の署名を全腎協へ提出しています。

また、これに先立ち、平成三年一月に有料道路料金を内部障害者にも適用するよう、道路公団等への指導を求める意見書を国にたいして提出するよう求めた都議会議決情報も昨年三月の議会で採択されています。

こうした運動の結果、建設大臣の諮問機関である「道路審議会」でもこの問題が取り上げられ、内部障害者等への対象拡大を検討する必要があるとの答申が出ており、実現に一步近づきました。早

期の実現に目指して、今後も運動を続けていくことが必要です。

(5)臓器移植の法制化について

て

「臨時脳死及び臓器移植調査会」が最終答申を出してから早くも一年が過ぎ去ろうとしています。この間、「臓器移植法」は国会への提出も出来ないままになっていました。また、臓器移植については、死体腎移植の症例数もかえって減少傾向にあります。

このような中で全腎協は、「脳死・臓器移植に関する法制化についての要望書」を各都道府県組織を通じて各国会議員に提出することを決めました。「脳死・臓器移植」についてはさまざまな解決すべき問題があります。しかし、現実に移植を必要とし、また、提供しても良いという人がその意志を最大限尊重されるよう、法制化を含む対策が必要ではないかという考えです。

この決定を受けて東腎協は、東京都選出の衆参両院の五十二人の国会議員へこの「要望書」を送付しました。しかし、当時国会では佐川急便問題で大揺れであったこ

とを割り引いても反応は鈍く、一人の議員から「反対」の意思表示があっただけでした。法案は、次期の国会に提出される動きですが、大いに議論していただきたいと思えます。

(6)職業安定所の斡旋で腎機能障害者が百六人就職

労働者では毎年六月一日現在の身体障害者の雇用状況を発表しています。これによれば、雇用率一・六%が適用される民間企業(常用労働者数六十三人以上の企業)の雇用率は、平成元年から三年連続で一・三二%という厳しい状況が続いていましたが、四年度は一・三六%と〇・〇四ポイント上昇しました。

しかし、法定雇用率に達していない企業の比率は四八・一%と相変わらず約半数も上っており、引き続き行政の強力な指導を期待したいと思えます。

一方、都内十七の職業安定所における平成三年年度の腎機能障害者に対する職業斡旋状況は、新規求職申し込み件数が二百六十四件、就職の決まった人は百六人で、昨年の六十五人に対して大幅に増え

ています。東腎協は職安職員の研修などにも協力してきましたが、労働経済局や職業安定所の担当者の努力を評価したいと思えます。

就職が決まった百六人の職種の内訳は、管理的職種一人、専門技術五人、事務三十八人、販売十一人、サービス六人、運輸通信三人、保安七人、技能工三十五人となつています。東京都では昭和五十六年から、身体障害者雇用について、法定雇用率(二・〇%)を上回る三・〇%を目標に、別枠の採用制度を設けて障害者の採用を行って

きました。この結果、平成三年度で雇用率三・一五%を達成しています。しかし、腎機能障害者については、これまで移植者の採用はあったものの透析患者の採用はありませんでしたが、昨年四月一日付けでようやく透析患者一人が採用になりました。

また、特別区では昭和五十六年以来多くの腎機能障害者が採用になっていますが、平成四年四月一日の採用者は四人でした。

(7) ブロック単位患者会交流

会

今年度もブロックで学習、交流

の場を設けて活発なブロック活動を展開しました。

区北部は六月十四日に板橋区立勤労福祉会館で三十二人が参加し、「透析医療における最近の課題」の学習等を行い、九月十三日には患者家族三十七人が参加して御岳日帰りバス旅行でパーベキューを楽しみました。

区中央部は七月十二日に代々木区民会館に二十一人が参加し、「医療費、医療法など最近の透析医療の状況」等を学習しました。

区東部は七月十二日に上野公園内東照宮社務所会議室で二十六人が参加し、「これからの医療・福祉の危機」等について学習しました。十一月十五日には四十五人が参加して大子温泉バス旅行を行いました。

区南部は十一月一日に十九人が参加して「秋の古都鎌倉散策」を行いました。

多摩部は七月二十六日に東京都多摩スポーツセンターで五十五人が診療報酬改定、医療法改正等について学習しました。九月十三日にはバス二台に百十二人が参加して「袋田温泉、袋田の滝バス旅行」を実施し、なし狩りなどを楽しみ

ました。

以上のように行われましたが、福祉等の施策が区市町村においてきていることから、ブロック活動を今後、どのように取組むか検討課題となっています。

(8) 青年部の活動

今年度は常任幹事会でこれからの運動を進めるためには青年部の協力が第一とし、青年部を充実させようとして話し合われてきました。平成二年の一月に青年部を結成してから活動が停滞していました。が、昨年、五月二十八日には青年部の会議を開き、まず、動いてみなくては始まらないということ、部長に村田茂さんを新たに選出し、「りんどろ湖バスハイイク」を企画しました。

バスハイイクは八月九日に実施され、四十四人の参加で、バスの中で楽しいゲームなど大いに盛り上がりしました。また、九月五日、六日、関東ブロック青年交流会が埼玉県長瀬で行われ、東腎協から三人が参加しました。

このように例年に比べて活発な活動が進められましたが、九月以降、活動が停滞していることもあ

り、会員から青年部に期待する声も大きく、一層活発な運動が求められています。

(9) 各委員会の活動

今年度の委員会活動は東腎協の二十周年記念事業を中心に各委員会とも活発な活動をしてきました。

会員拡大・交流委員会では、会員五千五百人を目指して、個人会員の方に会結成を呼び掛けたり、未組織病院訪問などを行ってきました。また、交流では、二十周年事業の「大ゲーム大会」や「祝賀パーティ」の企画から実施までを担当し、両企画とも大成功をおさめました。

教宣委員会は、会員拡大交流委員会からの要請で、会員拡大のためのチラシを作成しました。また、「入会のしおり」の改訂版も作成しました。そして、毎年行っている「学習交流会」や、「腎臓病を考える都民の集い」の内容についても検討を行ってきました。

腎疾患対策推進委員会は、二十周年事業の「腎臓病ブックレット」の出版に向けて活動してきました。ブックレットの体裁を決めた

り、医学的な部分の執筆を杏林大
学の長沢俊彦先生に依頼するなど
具体的な作成段階に入っていま
す。

編集委員会は、定期発行してい
る機関誌「東腎協」の発行のほか、
今年度は特に二十周年記念誌の編
纂という大きな役割を果たしまし
た。「あゆみ」と名付けられた東
腎協二十周年記念誌は、昨年十一
月に発行され、内外から好評を得
ています。

(10) 学習交流会で医療法を学 習

九月二十日、幹事会終了後、
「透析医療を巡る情勢、診療報酬
改定と医療法改正を学ぶ」と題し
て常任幹事・幹事対象に学習交流
会が開かれ、五十八人が参加しま
した。

学習交流会は当初、東腎協の二
十年の歴史を学ぶということで企
画されていましたが、四月の診療
報酬改定、六月に成立した改正医
療法と医療情勢の変化に対応し
て、緊急かつ重要課題として、「透
析医療を巡る情勢」を学習するこ
とになりました。

昼食休憩後に高橋副会長から二

十年の活動を含めた東腎協活動ヒ
デオの紹介があり、学習交流会に
移りました。最初に柳副会長から
問題提起が行われ、それを受けて
五班に分かれてディスカッション
を行いました。学習交流会の模様
については、東腎協機関誌九十五
号、九十六号で報告されました。

(11) 全腎協活動へも積極的 に 参加

東腎協は昨年度から全腎協担当
副会長三人体制をとり、積極的に
全腎協の活動に参加してきまし
た。

全腎協の第二十二回総会は、昨
年五月二十四日北海道札幌市で開
催され、全国から一千百余人が参
加しました。今回の総会は、昨年
全腎協が二十周年を迎えたのを受
け、新たな取組みを宣言した総
会として意味深い総会となりました。
東腎協からは二十二人が参加
しました。

関東ブロック会議は、今年度も
二回開催されました。通算第三十
一回目の会議は昨年六月二十七日
と二十八日の両日、千葉市で開か
れ、各県組織の強化、腎提供者拡
大、要介護透析患者対策等につい

て話し合いました。第三十二回会
議は東腎協が主催し昨年十二月五
日と六日の両日、中野サンプラザ
で開催し、一部七県から四十二人
が参加しました。この会議では市
町村に対する運動、死体腎移植推
進、関東ブロック会議のもち方な
どについて討議をしました。

東腎協からは、三十一回会議に
六人、三十二回会議には十一人が
参加しました。

(12) 機関誌「東腎協」の発行

今年度は編集委員会として二十
年誌の発行にも取り組み、時間的
な余裕が少ない中、機関誌「東腎
協」は順調に定期発行されました。
会員の体験、要望などを掲載し、
その役割を果たしました。

九十三号では東腎協二十周年記
念誌の模様を報告し、二十周年
記念事業の概要について掲載しま
した。また、やさしい障害年金コ
ーナーの最終回を掲載し、「私の
ふるさと」を始めました。

九十四号では特集、「主婦と透
析」を昨年六月に成立した改正医
療法を含めた内容で掲載しまし
た。また、札幌で開かれた全腎協
第二十二回総会の模様を報告しま

した。病態栄養研究所の八木由紀
子さんの協力により、「体験的五分
間クッキング」を始めました。

九十五号では学習交流会「透析
医療をめぐる情勢」、二十周年記
念シンポジウム「透析医療20年
の成果と今後の展望」を掲載しま
した。

九十六号では腎臓・角膜及び骨
髄移植推進キャンペーンの模様、
学習交流会における柳副会長から
の問題提起「透析医療をめぐる情
勢」、班別ディスカッションを掲
載しました。

(13) 要介護透析患者問題

透析患者の高齢化や長期透析の
合併症等により、介護が必要とす
る透析患者が増えています。

全腎協ではこのことについて、
「要介護問題対策委員会」を設け
検討してきましたが、平成三年に
実態調査を行い、「要介護透析患
者対策確立のために」を発表しま
した。また、これをもとに昨年十
一月には「運動の手引き」をまと
めました。

東腎協では、今年度が結成二十
周年に当たったことから、この問
題についての十分な取組みができ

ませんでした。今後は、現在集計中の「会員実態調査」の結果なども参考として、行政などに要請活動をしていくことが必要です。

④他団体との連携について

①国際障害者年

「完全参加と平等」の実現をめざして、昭和五十六からはじまった「国連・障害者の十年」は、今年度で最終年を迎え、これを記念して、昨年十二月に多くの行事を華々しく行いました。

この十年、障害者問題についての国民の認識はかなりすすみ、雇用、年金、福祉などの法的な改善と進展が見られました。しかし、「完全参加と平等」の実現にはいまだほど遠い、というのが現実です。

東腎協は、これまで国際障害者年東京都連絡協議会に代表を送り、東京都の障害者問題に内部障害者の立場から意見を述べてきました。そして、東京都は昨年三月、新たな「東京都障害者福祉行動計画」を策定しています。

「国連・障害者の十年」はひとまず終わりますが、この終わりは、次の十年に向けた「新たなはじ

まりの年」と位置づけて、「完全参加と平等」の実現に向け、引き続き運動をすすめていくことが必要です。

②東難連

今年度の東京難病団体連絡協議会主催の腎臓病無料医療相談会は、昨年四月十九日、飯田橋セントラルプラザで開かれました。相談医として、東邦大学大森病院腎センター・長谷川昭教授、水入苑生助教授、小原武博助教授、相川厚講師に担当していただきました。受診者は二十四人でした。終了後、担当医の先生と、東腎協役員の懇談会が開かれ、一人一人の相談に十分な時間があり、先生方にも診療の参考になるなど充実した医療相談会でした。

東難連へは、今年度も草間事務局長が東難連副会長として、毎月の運営委員会・役員会や難病検診、都庁・都議会への要請・陳情活動に活躍してきました。今年度、東難連は設立二十周年を迎え、実行委員として柳副会長、本間常任幹事が参画しました。

昨年七月五日に「東難連設立二十周年の集い」がひらかれ、東腎協から二十五人が参加しました。

また、東難連二十年誌の編集委員として草間事務局長、本間常任幹事が参加しました。

③日患協

日本患者・家族団体協議会（JPC）の各省要請行動は、昨年十一月十六日に行われました。東腎協からは午前の文部省、運輸省、労働省、午後の厚生省、建設省の要請行動に四人の常任幹事が参加しました。

おわりに

この一年は、二十周年記念事業への取組みに精一杯努力し、また、「会員実態調査」の集計し、「腎臓病ブックレット」の作成が来年度になりましたが、会員皆さまらびに関係者の皆さまの協力により、記念事業は成功裡に終わることかできました。ここに改めて御礼申し上げます。

しかし、この間の活動の中でいくつかの問題点も出てきました。

一つは会員拡大の問題があります。今年度は結成二十周年ということもあって、会員数の大幅拡大を目指し、会員拡大・交流委員会が中心となって努力してきました

が、結果的には微増に止まっています。

その主な原因は、病院患者会が休会になったり、解散になるなど、活動が停滞したことによります。

その理由としては活動家の不足や医学的、経済的要求が達せられた段階での患者会へ対する参加意識の低下という点です。このことについては今後、十分に話し合っつてのりこえて克服していかなければなりません。

また、要介護の透析患者問題、腎臓移植の問題も大いに運動を進めていかなければなりません。このような課題は残されています。二十周年を総括し、東腎協の二十年は私たち患者にとってなくてはならないものであったと思います。

平成四年度主な活動記録

〔平成四年〕

3月

1 区東部患者会交流会を上野公園で開催(47人)

3 機関誌「東腎協」No.92発送

4 総会及び記念シンポジウムに対する協力依頼に都・衛生局訪問

5

8 教宣委員会開催(6人)

5

8 会員拡大交流委員会開催(9人)

5

12 江東腎臓病を考える総会出席

9

12 総会案内状を福祉局、衛生局及び都議会各会派へ持参

12

14 東腎協20周年事業に対する助成の件で都・衛生局訪問

14

全難連主催講演会出席(4人)

14

『東腎協』会員さん訪問

14

15 〃の取材で酒誌さん訪問

17 第150回常任幹事会開催(18人)

17 教宣委員会開催(5人)

17 機関誌「全腎協」No.125発送

17 送

19 20周年事業の協力要請で府中腎クリニック杉崎院長訪問

20 透析施設長宛20周年事業協力依頼状発送

20 機関誌「東腎協」表紙写真撮影

21 眞撮影

21 『東腎協』会員さん訪問

21 〃の取材で竹川さん訪問

21 20周年記念事業の協力要請で嬉楽病院須藤院長訪問

21 問

22 会計監査(4人)

22 豊島郵便局へ低料第三种差出承認申請

22 20周年記念事業の協力要請であけぼの病院南郷院長、三鷹北口病院高森事務局長訪問

22 国際障害者年東京都連絡協議会出席

22 協賛会出席

22 〃

22 〃

22 〃

22 〃

22 〃

22 〃

22 〃

22 〃

22 〃

22 〃

22 〃

22 〃

26 20周年記念事業の協力要請で腎研クリニック越野院長訪問

26 全腎協国会誌編及び有料道路料金引国会誌発行動参加(20人)

26 20周年記念事業の協力要請でアルモ株式会社訪問

26 20周年記念事業の協力要請で都職労訪問

26 都議会と有料道路料金割引適用を求める意見書採択される

26 東難連運営委員会出席(3人)

26 20周年記念誌編集委員会開催(7人)

26 20周年記念事業の協力要請で三軒茶屋病院大坪院長訪問

26 東腎協No.93編集

26 20周年記念事業の協力要請で腎研研究会訪問

26 『東腎協』表紙写真撮影

26 4月

26 会員拡大・交流委員会開催及び「祝う会」会場下見(6人)

26 20周年記念事業の協力要請で腎臓移植普及会訪問

26 腎臓病医療相談会協力依頼に東邦大学病院訪問

26 東腎協結成20周年記念第

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 20回総会開催(21人)

26 東腎協No.93編集

26 20周年記念事業の協力要請で新小岩クリニック西尾院長訪問

26 3月分決算報告書作成

26 愛知県、秋田県、岩手県の各総会にメッセージ発送

26 送

26 東難連運営委員会出席(3人)

26 長野県及び京都府の総会にメッセージ発送

26 結成20周年事業賛助金の御礼及び領収証を協力病院へ発送

26 鹿児島、福岡県の総会にメッセージ発送

26 20周年誌編集委員会開催(6人)

26 腎臓病医療相談会開催(13人)

26 新小岩クリニック友の会総会出席

26 「医療法改正」反対要請はがき運動依頼状を各会に発送

26 三役会議開催(11人)

26 JPC医療法改正反対国会誌頒(4人)

26 20周年記念事業の協力要請で大山クリニック中村院長訪問

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 第150回常任幹事会開催(19人)

26 あけぼの友の会総会出席

26 『東腎協』No.93発送

26 東腎協結成20周年記念事業賛助金の御礼および領収証を協力病院宛発送

26 茨城県、大分県の各総会にメッセージ発送

26 高知県総会にメッセージ発送

26 送

26 区北部患者会交流会会場予約

26 各県組織宛東腎協総会へ対する祝電・メッセージ札状を発送

26 香川県総会にメッセージ発送

26 5月

26 東難連運営委員会出席

26 会員拡大交流委員会開催(7人)

26 岡山県、広島県の総会にメッセージ発送

26 4月分決算

26 静岡県総会にメッセージ発送

26 教宣委員会開催(8人)

26 千葉県、熊本県、島根県の各総会にメッセージ発送

26 腎臓移植普及会小川氏来

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

26 〃

- 22 21 20 19 18 17 16 15 14
- 22 透析15年・20年調査票を
21 福島県総会へメッセージ
20 三鷹北口病院事務局長高
森氏来局、20周年賛助金
受領
19 都職労委員長に感謝状授
与し感謝の意を表わす
兵庫県総会へメッセージ
20 発送
18 栃木県、滋賀県の各総会
へメッセージ発送
17 多摩郡患者会交流会打合
せ(9人)
第152回常任幹事会開催
(19人)
16 区南部患者会交流会打合
編集委員会開催(7人)
15 岐阜県、石川県の各総会
へメッセージ発送
- 1 1 各幹事宛発送
氏家さん(武蔵野日赤)
に会結成の件で面談
24 全腎協第22回札幌総会出
席(11人)
25 埼玉県、新潟県、佐賀県
の各総会へメッセージ発
送
27 西久保さん(保谷厚生病
院)に会結成の件で面談
28 都・福祉局計画課、総務
局人事課、労働経済局職
業課へ5年度予算要望書
を提出
29 都・教育庁保健給食課へ
5年度予算要望書提出
30 青年部役員会開催(7人)
腎疾患対策推進委員会開
催(4人)
31 富山県総会へメッセージ
発送
30 区南部患者会交流会打合
せ(4人)
31 南多摩病院のばら会研修
会出席
江川川口腎友さつき会発
会式出席
無病病院佐藤氏、望里田
織クリニック長尾氏と会
活動の件で面談
10 6月
1 区南部バス旅行の件で都
営観光サービス訪問打合
- 2 世
群馬県、山形腎、鳥取県
の各総会へメッセージ発
送
3 東腎協結成20周年記念事
業賛助金の御礼及び領収
証を協力病院宛発送
都・養育院へ5年度予算
要望書を提出
4 会員拡大で明神町クリニ
ック訪問
5 未組織透析施設へ入会案
内・ポスター等発送
6 5月分会計報告作成
7 松村クリニック訪問、院
長先生と面談
8 東難連運営委員会出席
9 第153常任幹事会開催(17
人)
10 全腎協運営委員会出席
(3人)
11 JPC国会請願行動(8
人)
12 東京都衛生局医療福祉部
特殊疾病対策課金田課
長、浜辺計画係主査、北
川計画係、計画係青木主
任来局
13 松和会へ20周年記念事業
賛助金協力依頼状を発送
14 沖繩県総会へメッセージ
27 20周年誌山田さん訪問
25 24 20周年誌猪狩さん訪問
23 5年度東京都予算申請行
動(11人)
- 11 区南部バス旅行でバス会
社申込
12 「腎臓病を考える都民の
集い」ポスター等を病院
看護関係学校へ発送
13 区東部患者会交流会案
内、ポスター発送
14 20周年誌伊藤さん訪問
15 区北部患者会交流会開催
(32人)
16 東神田クリニック腎友会
講演会出席
17 会員拡大で青梅総合病院
本橋さんと面談
18 機関誌「東腎協」No94編集
都・福祉局訪問、都営観
光バス提出の障害者団
体証明書の交付申請
19 20周年記念誌編集委員会
開催(7人)
20 全腎協運営委員会出
席(5人)
21 全難連總會出席(15人)
22 湯島腎友会結成総会出席
腎臓病を考える都民の集
いで衛生局佐野氏、司会
松村さんと打合
23 東難連つどい会場打合
「東腎協」表紙写真撮影
24 20周年誌猪狩さん訪問
25 5年度東京都予算申請行
動(11人)
- 27 28 27 11 関東ブロック会議
(千葉)出席(7人)
28 「腎臓病を考える都民の
集い」開催(278人)
29 「考える集い」の礼状を
各医師と高橋MSW、松
村さん宛発送
7月
3 東難連設立20周年の集い
打合
4 東腎協No94編集(2人)
東難連運営委員会出席
(3人)
4 5 全腎協事務局担当者
研修会出席(3人)
5 東難連設立20周年の集い
出席(25人)
7 東腎協20周年誌小泉常幹
一家座談会(4人)
河村都議災害対策の件で
来局
9 「東腎協」No94編集打合
6月分決算報告書作成
「腎臓病を考える都民の
集い」で御礼に東京都訪
問
10 機関誌「全腎協」No128発
送
11 会員拡大で河辺駅前クリ
ニック訪問
12 教宣委員会開催(6人)
13 区中央部交流会開催(22
人)

結成20周年記念シンポ

(4月5日)



「腎臓病を考える部氏の集い」

(6月28日)



ブロッコ交流会(多摩部)

(7月26日)



- 16 区東部交流会開催(26人) ゲーム大会打合せ及び会場下見
- 18 大和病院透析友の会学習会出席
- 19 会員拡大交流委員会開催(9人)
- 21 第154回常任幹事会開催(18人)
- 22 区南部交流会で都営観光 境南クリニック患者会生 天目会長他と武蔵境駅前 で面談
- 20周年記念誌、岡さんインタビュー

- 23 多摩部患者会交流会準備 山梨腎友会望月仁会長逝去の報に弔電を発信する 会員拡大で増原クリニック訪問
- 24 青年部打合せ(7人) 故山梨腎友会望月会長の告別式に参列
- 26 災害時の透析用水、電源確保に関するアンケート 発送
- 29 多摩部患者会交流会開催(65人) 個人会員15・20年透析者 調査票発送

- 1 東難連運営委員会出席(3人)
- 3 全腎協事務局ニュース No.126発送
- 5 大ゲーム大会用品準備及び多摩部交流会報告書作成
- 6 都庁要請リポート完成印刷
- 7 青年部りんどう湖バスハイク景品買付け
- 8 20周年記念誌、加島さんインタビュー
- 9 20周年記念誌編集委員会(9人) 青年部りんどう湖バスハイク

- 13 イク(44人)
- 14 20周年記念誌年表編集
- 17 大ゲーム大会案内状発送
- 18 学習交流会の講演準備
- 19 20周年記念シンポリライ ト
- 20 7月分会計報告作成
- 18 東池袋医院閉鎖の噂について小出先生と面談
- 19 多摩部バス旅行準備
- 20 20周年記念シンポリライ ト
- 21 東難連20周年誌編集委員会(2人)
- 22 第29回幹事会開催案内状 発送
- 23 緊急時透析アンケート整理
- 24 20周年記念誌編集
- 25 学習交流会資料検討
- 26 聖橋クリニック講演会出席
- 27 星野里ニック講演会出席
- 28 事業の協力要請
- 29 20周年記念シンポジウム ティープリライト
- 30 河村都議災害対策の件で 来局
- 31 20周年記念誌年表編集
- 32 三役会議開催(9人)
- 33 20周年記念シンポジウム 編集
- 34 大ゲーム大会準備
- 35 多摩部ゲーム景品買入

- 9月
- 1 20周年記念シンポジウム 編集
- 2 多摩部バス旅行景品袋詰
- 3 腎キャンペーンとの打合で 衛生局北川氏来局
- 4 東難連運営委員会(2人)
- 5 8月分会計報告書作成
- 5 6 関東ブロッコ青年交 流会出席(3人)
- 6 常任幹事会開催(19人) 区北部バス旅行景品買付 (3人)
- 7 編集委員会開催(4人)
- 8 大ゲーム大会打合せ(7人)
- 9 幹事会事前配布資料、全 腎協事務局ニュース発送
- 10 大ゲーム大会参加呼びびか ハガキ発送
- 11 青年部打合せ
- 12 区北部バス旅行準備
- 13 区北部バス旅行準備
- 14 友の会・菊地さんあけぼの 会の会・菊地さんあけぼの イン タビュー(3人)
- 15 区北部みたびバス旅行実 施(37人)
- 16 多摩部袋田の滝バス旅行 実施(112名)
- 17 「全腎協」No.129発送
- 18 学習交流会資料打合
- 19 幹事会・学習交流会資料 作成
- 20 大ゲーム大会景品購入



青年部交流会(りんどう湖)
(8月9日)



20周年記念大会
(9月27日)



20周年祝賀パーティ
(11月29日)

- 22 20周年誌年表作成
- 23 腎研究会20周年記念パ
ティール出席
- 24 大ゲーム大会準備
- 26 大ゲーム大会会場下見

- 3 東難連運営委員会出席
- 2 国会請願署名用紙患者会
分発送
- 1 会員実態調査票個人会員
宛発送
- 10月
- 7 腎臓移植普及会・小川氏
来局、患者家族登録運動
の協力を依頼
- 8 会員拡大交流委員会開催
(6人)

- 4 第156回常任幹事会開催
(21人)
- 5 東腎協 No 95入稿
- 6 第156回常任幹事会報告作
成
- 7 腎移植推進キャンペーン
協力依頼状発送
- 第32回関東ブロック会議
開催案内状を各県組織宛
発送

- 10 20周年誌泊込み編集会
議(8人)
- 11 会員実態調査票及び全腎
協実態調査報告書を腎友
会宛発送
- 12 「20周年記念祝賀パ
ーティ」打合
- 13 会員実態調査票個人会員
部自治研究センター月例
フォーラム出席
- 14 区南部鎌倉ハイク案内状
作成
- 15 「国連・障害者の十年」
東京連絡会議出席
- 16 区南部鎌倉ハイク案内状
発送

- 17 全腎協第63回幹事会
出席
- 18 腎臓・角膜及び骨髄移植
推進キャンペーン開催
(25人)
- 19 東腎協 No 95発送作業
東池袋内科医院経営者交
代に伴う保険医の取扱で
東京都福祉局要請
- 20 20周年記念祝賀パ
ーティ打合
- 21 東難連社会党、民社党5
年度予算ヒアリング出席
- 22 社会党5年度東京都予算
ヒアリング出席(7人)
- 23 東難連20周年誌編集会議
結成20周年記念祝賀パ
ーティ案内状を招待者へ発
送
- 24 患者家族登録者用テレホ
ンカードを普及会で受領
- 25 大腎協総会へメッセージ
発送
- 26 公明党5年度東京都予算
ヒアリング出席(4人)
- 27 都衛生局長他へ東腎協の
20年あゆみを持参
- 28 東池袋内科医院閉鎖の件
で福祉局に挨拶
- 29 東難連公明党、共産党5
年度東京都予算ヒアリン
グ出席
- 30 機関誌「東腎協」No 95及
び患者家族登録運動案内
状発送
- 31 全腎協事務局ニュース等
発送
- 32 東腎協の20年「あゆみ」
発送
- 33 透析医会5周年記念シン
ポジウム開催

- 3 東難連自民党5年度予算
ヒアリング出席
- 4 9月分会計報告書作成
- 5 「患者会が作った腎臓病
の本」の体裁について打
合せ(4人)
- 6 腎キャンベーン用具引取
全腎協結成20周年記念祝
賀パーティー案内状発送
- 7 全腎協第63回幹事会
出席
- 8 腎臓・角膜及び骨髄移植
推進キャンペーン開催
(25人)
- 9 東腎協 No 95発送作業
東池袋内科医院経営者交
代に伴う保険医の取扱で
東京都福祉局要請
- 10 20周年記念祝賀パ
ーティ打合
- 11 東難連社会党、民社党5
年度予算ヒアリング出席
- 12 社会党5年度東京都予算
ヒアリング出席(7人)
- 13 東難連20周年誌編集会議
結成20周年記念祝賀パ
ーティ案内状を招待者へ発
送
- 14 患者家族登録者用テレホ
ンカードを普及会で受領
- 15 大腎協総会へメッセージ
発送
- 16 公明党5年度東京都予算
ヒアリング出席(4人)
- 17 都衛生局長他へ東腎協の
20年あゆみを持参
- 18 東池袋内科医院閉鎖の件
で福祉局に挨拶
- 19 東難連公明党、共産党5
年度東京都予算ヒアリン
グ出席
- 20 機関誌「東腎協」No 95及
び患者家族登録運動案内
状発送
- 21 全腎協事務局ニュース等
発送
- 22 東腎協の20年「あゆみ」
発送
- 23 透析医会5周年記念シン
ポジウム開催

- 34 大ゲーム大会打合(9人)
- 35 20周年誌編集委員会開催
(6人)
- 36 大ゲーム大会開催(13人)
- 37 大ゲーム大会後片付け
- 38 東腎協 No 95編集
- 39 東腎協20年誌校正
- 40 国会請願署名用紙、事務
局担当者、役員ハンドブ
ック発送
- 41 大ゲーム大会準備
- 42 区東部バス旅行案内状発
送
- 43 印刷へ発注
- 44 会員実態調査票あかつき
- 45 用紙個人会員宛発送
- 46 全腎協・JPC 国会請願
会協働(58人)
- 47 全腎協開催(58人)
- 48 第29回幹事会及び学習交
流会開催
- 49 幹事会・学習交流会準備
(5人)

21	20	19	18	17	16	15	14	13	11	9	8	5	3	1
20周年祝賀会準備	個人会員会費納入状況チェック	東難連編集委員会出席	ク白氏面談	関東ブロック会議宿泊手配 議題等準備	JPC各重要請参加(4人)	腎疾患対策推進委員会(5人)	会員拡大で河辺クリニック訪問、加藤院長と懇談	区東部「袋田の滝 大子温泉、りんご狩り」実施(45人)	会員実態調査整理 【全腎協】No130発送 20周年記念祝賀パーティ 1打合	会員実態調査整理 【全腎協】No130発送 20周年記念祝賀パーティ 1打合	「脳死・臓器移植法制化要望書」を東京都選出の衆参両院の52人の国会議員宛発送	第157回常任幹事会開催(19人)	こやまクリニック訪問 10月分会計報告作成	11月 区南部古都鎌倉敷策(19人)
9	8	7	6	5	5	3	2	1	30	29	28	26	25	22
国会請願署名整理	「国連・障害者の十年」国民会議全体集会・パレード参加(6人)	「国連・障害者の十年」国民会議テーマ別集会参加(6人)	増原クリニック腎友会創立記念パーティ出席 「国連・障害者の十年」	東難連運営委員会出席 第32回関東ブロック会議開催(12人)	東難連編集委員会出席 事表敬訪問参加	列島縦断キャラバン隊知事表敬訪問参加	「国連・障害者の十年」	東難連編集委員会出席 会員実態調査集計	20周年祝賀パーティ開催(133人)	20周年祝賀パーティ開催 上出席	全腎協20周年記念事業打問	東京連絡会議出席 20周年祝賀会準備 スタッフ訪問で立川相互腎、多摩業局松崎さん訪問	阿佐留病院懇親会出席 「国連・障害者の十年」	こやまクリニック披露宴 20周年祝賀会会場打合 出席
28	22	21	19	18	17	16	15	14	13	12	11	11	10	10
大掃除 仕事納め	5年度予算検討 会員実態調査集計	原稿依頼の件で杏林大学長沢教授訪問	腎臓病ブックレット	年賀状宛名書き 小笠原クリニック友の会5周年記念忘年会出席 読売新聞夕刊にあゆみ紹介される	東難連編集委員会出席 会員実態調査集計	No129、腎臓移植普及会20周年記念講演会案内状、患者家族登録についてを幹事宛発送	全腎協事務局ニュース 成・発送 第158回常任幹事会報告作成	機関誌「東腎協」No96「会員さん訪問 コーナー取材で藤原一さん訪問(2人)」	機関誌「東腎協」No96「会員さん訪問 コーナー取材で藤原一さん訪問(2人)」	第158回常任幹事会開催 (21人)	三役会議開催(10人) 国会請願署名整理	こてまり会訪問 11月分会計報告作成 車難連首都圏難病会議についての打合	国会請願署名整理 三役会議開催(10人)	こてまり会訪問 11月分会計報告作成 車難連首都圏難病会議についての打合
21	22	21	19	18	17	16	15	14	13	12	11	11	10	10
腎臓移植普及会20周年記念講演会及び祝賀会出席(6人)	腎臓移植普及会20周年記念講演会及び祝賀会出席(6人)	腎臓移植普及会20周年記念講演会及び祝賀会出席(6人)	腎臓移植普及会20周年記念講演会及び祝賀会出席(6人)	腎臓移植普及会20周年記念講演会及び祝賀会出席(6人)	腎臓移植普及会20周年記念講演会及び祝賀会出席(6人)	腎臓移植普及会20周年記念講演会及び祝賀会出席(6人)	腎臓移植普及会20周年記念講演会及び祝賀会出席(6人)	腎臓移植普及会20周年記念講演会及び祝賀会出席(6人)	腎臓移植普及会20周年記念講演会及び祝賀会出席(6人)	腎臓移植普及会20周年記念講演会及び祝賀会出席(6人)	腎臓移植普及会20周年記念講演会及び祝賀会出席(6人)	腎臓移植普及会20周年記念講演会及び祝賀会出席(6人)	腎臓移植普及会20周年記念講演会及び祝賀会出席(6人)	腎臓移植普及会20周年記念講演会及び祝賀会出席(6人)
21	7	5	4	3	2	1	30	29	28	27	26	25	23	23
第30回幹事会開催(22人)	第30回幹事会開催(22人)	第30回幹事会開催(22人)	第30回幹事会開催(22人)	第30回幹事会開催(22人)	第30回幹事会開催(22人)	第30回幹事会開催(22人)	第30回幹事会開催(22人)	第30回幹事会開催(22人)	第30回幹事会開催(22人)	第30回幹事会開催(22人)	第30回幹事会開催(22人)	第30回幹事会開催(22人)	第30回幹事会開催(22人)	第30回幹事会開催(22人)

平成5年

平成五年度活動方針(案)

東京都は一月二十二日、平成五年度予算知事原案を発表しました。

それによると、税収の激変により、一般会計は七兆百十二億円で、十四年ぶりのマイナス予算となりました。腎不全対策費については、事業内容の後退はありませんでしたが、減額予算となっています。また、政府予算案は昨年暮れに決まりましたが、一般会計は、四年度当初予算比〇・二%増と緊縮予算となつていきます。

東腎協は昨年度結成二十周年を迎えこれまでの活動を総括するなかで、二十周年の記念事業に取り組んできました。

この事業の中で、会員拡大にも積極的に取り組みましたが、透析施設の廃止や復員不足などで、会活動が出来なくなった会などもあつて、会員数は微増に留まっています。また、二十周年で平成四年度予算の執行率も高かつたために前年度繰越金が少なくなつていま

す。そのため、東腎協の一般会計予算は赤字となり、特別会計からの繰り入れを仰ぐという緊急事態となつていきます。

今年度の活動は、腎疾患総合対策の確立を目指す運動とともに、会員拡大運動を積極的に進め、同時に今後の財政問題についても話し合っていく必要があります。

その他、今年度も高齢者や合併症患者の介護問題、腎移植問題、そして、最近の福祉八法の改正で、各種の福祉対策の中心が区市町村に委譲され、それに対する対応などたくさんの課題を抱えておりあります。

また、全国レベルでは、改正医療法が四月から執行されますが、私たち透析患者にどういう影響があるのか、これも注意深く見ていく必要があります。

今年度も多くの課題を抱え、東腎協の果たす役割はますます重要になるでしょう。会員のみならず、常に回りの状況に対して問題

意識を持ち、自分自身のこととして東腎協の活動にご協力をお願いいたします。

東腎協は、平成五年度の活動として次の目標に取り組んでいきます。

活動目標

- 1、腎臓病の研究、予防、治療から社会復帰まで含めた腎疾患総合対策を確立するため運動をすすめます。
- 2、腎提供者確保のための運動をすすめるとともに、私たちが会員家族の腎バンク登録をすすめます。
- 3、医療、福祉制度の全国的な問題に対しては、積極的に全腎協とともに運動をすすめます。
- 4、国立王子病院を地域医療の担い手として存続・拡充させ、腎医療のいっそうの充実に向け「国立王子病院を守る会」とともに運動をすすめます。
- 5、腎臓病の知識普及に努めます。
- 6、「腎臓病を考える都民の集い」を開催します。また、第5回と第6回の「都民の集い」の報告集を発行します。
- 7、要介護透析患者や合併症を持った透析患者の対策についての運動をすすめます。
- 8、糖尿病からの透析患者対策について運動をすすめます。
- 9、働いている腎機能障害者の資金差別などの就労実態について、調査・研究します。
- 10、東難連や要望が一致する他の団体と連携・協力して医療と福祉のための運動をすすめます。
- 11、会員交流会とブロック別の患者交流会を開きます。
- 12、青年部の活動を活発にすすめます。
- 13、会員拡大をはかり、次ぎの総会までに五千五百人を目標とします。
- 14、各腎友会の組織強化をはかります。
- 15、幹事、常任幹事を対象とした学習会を開きます。
- 16、機関誌「東腎協」を定期発行します。さらに、速やかな情報伝達のために「東腎協ニュース」を随時発行します。
- 17、要望事項実現のため、都庁要

- 請、都議会要請を行います。
 18、事務局体制の強化ならびに財政対策について検討します。
 19、中、長期目標については、継続的に論議を深めます。

東京都及び都議会各党に対する陳情、要請活動

(1) 医療体制の整備に関する要望

- 1、腎臓病の研究、予防、治療から社会復帰まで含めた腎疾患総合対策を確立すること。
- 2、腎移植普及のため、広報活動の強化など腎臓提供者確保体制を確立すること。
- 3、すべての都立病院に腎外来を設置し、駒込病院及び豊島病院、さらに大久保病院では外来透析及び夜間透析を実施、拡充すること。
- 4、都立病院で成人の腎移植を実施すること。
- 5、都立病院内に、腎臓病の早期治療から腎移植手術まで可能な総合腎センターを設置すること。

- 6、大久保病院については、腎臓病の早期治療から腎不全治療、特に合併症に対応できる腎センターを設置し、健康ブラザ内他施設との連携による腎疾患総合対策を推進すること。
- 7、看護婦や臨床工学技士などの医療スタッフを確保すること。特に、都立病院では臨床工学技士を配置すること。
- 8、老人医療センター内に高齢者腎不全センターを設置すること。

- 9、多摩市に建設予定の地域病院で外来透析及び夜間透析を実施すること。
- 10、大島、八丈島などの島しよでも透析治療が受けられるようにすること。
- 11、乳幼児、児童、生徒、学生、勤労者、家庭婦人、自営業者などに対する検尿を完全実施し、管理体制を確立すること。
- 12、小、中学生については、「腎臓手帳」の発行による管理体制を推進すること。
- 13、糖尿病性腎症の透析患者を増やさなため、糖尿病性腎症

(2) 医療費、生活保障に関する要望

- の知識普及や予防・管理体制を推進すること。
 14、地震、水害、火災などの災害時における透析施設間ネットワーク化等の緊急透析治療体制及び病院までの交通を確保すること。

- 1、慢性腎炎患者の医療費を公費負担すること。
- 2、内部障害者は、四級まで医療費を公費負担すること。
- 3、心身障害者福祉手当を増額し、所得制限を引き上げること。
- 4、透析患者を父とする家庭への児童扶養手当の認定を促進すること。特に就労していない透析患者の家庭には児童扶養手当を支給すること。
- 5、内部障害者も、有料道路料金の割引制度の対象とするよう国等へ働きかけること。
- 6、東京都地域福祉計画及び市町村老人保健福祉計画策定に当たっては、介護が必要な透析患者が利用できる対策を充実すること。
- 7、東京都の職員に人工透析をし

- ている障害者を採用すること。
 8、腎機能障害者の雇用を促進すること。

平成五年度スローガン案

- 一、腎臓病の研究、予防、治療から社会復帰にいたる腎総合対策の確立を！
- 二、要介護透析患者と合併症に対する対策を！
- 三、都立病院で成人の腎移植実施を！
- 四、慢性腎炎患者の医療費公費負担を！
- 五、国立王子病院を地域医療の担い手として存続を・拡充を！
- 六、国公立病院及び都立病院で夜間透析の実施を！
- 七、腎バンク登録者の拡大を！
- 八、働ける腎臓病患者に社会復帰の道を！
- 九、内部障害者にも有料道路料金の割引適用を！
- 十、区市町村での福祉対策の充実を！
- 十一、活動内容を充実し、五千五百人の東腎協を！

文書発言もできます

東腎協規約第六条で、総会にたいして文書による発言も認められています。

なお、総会議案にたいする意見のある方は、別紙の発言用紙に書いて、三月末日（必着のこと）までに東腎協へお送り下さい。

△送り先▽

〒171 東京都

東腎協事務局

総会宣言(案)

結成20周年は大きな成功をおさめ、あらたなる一步を踏み出そうとしている東腎協のゆくてには風雨激しい荒海が待っているかのようです。平成4年には透析医療費に懸念されていた定額制が検査料に限定されてではありますが、導入されてしまいました。さらに医療法改正実施により、透析患者へのしわよせしが心配されています。くわえて、福祉八法改正にともなって、それへの対応も急がれます。

先輩たちの文字どおり、命がけの運動によりわたくしたちは現在、だれでも、いつでも、どこでも、透析を受けることが出来ます。しかし、その制度も『福祉の見直し』という福祉の切り捨てに見舞われるならば、嵐のなかの小船のたとえのようにいつ、くつがえるか定かではありません。

いまや、会員一人一人、「会」がなにをしてくれるかではなく、「会」のために何が出来るかを胸に問うときではないでしょうか。会員拡大においてもあたらしい会員が増えている反面、組織の疲れのためか、休会などもあり、会員数で現状を維持するに留まってしまいました。そのための財政的困難にも直面しています。生活の砦を守るために初志を振り返って行く手を見極めることが要求されています。

世界はまさに、パンドラの箱をひっくり返したような災害、民族・宗教紛争、人々の不信と憎しみ合いによる殺戮の惨状を呈し、罪のない子供たちまでが苦しめられています。一方、私たちの周りを見ても長期透析などによる合併症で動けなくなり、苦しんでいる人たちが増加しています。わたくしたち腎臓病患者は自らの病を通して命の大切さを訴え、行動してきました。あくまでも、よりよい医療と福祉を求めて国民の理解を得て、行政に働き掛け、腎臓病患者の未来を確保しなければなりません。

そのためにわたくしたちは腎疾患総合対策の方針にそって、手をたずさえて、力をあわせ、ともに歩みつづけることをここに宣言します。

平成5年4月4日

東京都腎臓病患者連絡協議会第21回総会

平成4年度全警協・日感協 国会請願署名・班金集計表										平成5年2月15日	
番号	署名者名	会員数	全警協署名	日感協署名	班金	署名者数	国会請願署名	日感協署名	班金	署名者数	班金額
1	豊和フリースポーツ会	56	520	507	43,800	48	48	48	48	53	215
2	あけぼのフリースポーツ会	170	1,438	1,398	87,500	49	49	49	49	64	311
3	青山河内フリースポーツ会	60	378	378	37,380	50	50	50	50	16	232
4	青山河内フリースポーツ会	3	80	80	3,000	51	51	51	51	42	253
5	青山河内フリースポーツ会	3	0	0	0	52	52	52	52	16	232
6	青山河内フリースポーツ会	12	40	40	12,000	53	53	53	53	7	76
7	東田フリースポーツ会	64	169	177	5,000	54	54	54	54	6	63
8	和泉フリースポーツ会	18	90	100	5,000	55	55	55	55	50	535
9	和泉フリースポーツ会	50	231	214	20,000	56	56	56	56	22	0
10	和泉フリースポーツ会	15	101	100	13,700	57	57	57	57	31	150
11	和泉フリースポーツ会	41	264	264	24,120	58	58	58	58	37	287
12	和泉フリースポーツ会	62	261	264	48,760	59	59	59	59	13	98
13	和泉フリースポーツ会	62	890	890	48,760	60	60	60	60	110	520
14	和泉フリースポーツ会	38	350	350	33,000	61	61	61	61	38	215
15	和泉フリースポーツ会	38	294	324	11,933	62	62	62	62	35	250
16	和泉フリースポーツ会	24	475	475	11,933	63	63	63	63	10	0
17	和泉フリースポーツ会	27	703	712	25,000	64	64	64	64	10	0
18	和泉フリースポーツ会	67	331	331	100,500	65	65	65	65	88	641
19	和泉フリースポーツ会	228	2,116	2,136	152,960	66	66	66	66	92	941
20	和泉フリースポーツ会	51	259	272	47,820	67	67	67	67	100	691
21	和泉フリースポーツ会	46	430	417	137,600	68	68	68	68	45	490
22	和泉フリースポーツ会	100	812	842	68,500	69	69	69	69	40	488
23	和泉フリースポーツ会	48	157	160	38,600	70	70	70	70	15	193
24	和泉フリースポーツ会	27	470	467	38,600	71	71	71	71	58	580
25	和泉フリースポーツ会	35	431	428	32,400	72	72	72	72	19	85
26	和泉フリースポーツ会	4	0	0	9,000	73	73	73	73	117	1,247
27	和泉フリースポーツ会	30	165	214	36,325	74	74	74	74	10	38
28	和泉フリースポーツ会	86	164	174	46,660	75	75	75	75	39	233
29	和泉フリースポーツ会	69	560	583	11,000	76	76	76	76	72	1,230
30	和泉フリースポーツ会	18	146	146	11,000	77	77	77	77	19	306
31	和泉フリースポーツ会	31	158	165	13,500	78	78	78	78	16	150
32	和泉フリースポーツ会	4	0	0	80	79	79	79	79	20	150
33	和泉フリースポーツ会	120	1,326	1,315	130,890	80	80	80	80	128	1,016
34	和泉フリースポーツ会	65	123	118	17,000	81	81	81	81	18	130
35	和泉フリースポーツ会	63	264	262	21,970	82	82	82	82	30	218
36	和泉フリースポーツ会	13	25	25	14,000	83	83	83	83	56	921
37	和泉フリースポーツ会	139	752	755	99,000	84	84	84	84	36	318
38	和泉フリースポーツ会	61	297	284	44,600	85	85	85	85	80	90
39	和泉フリースポーツ会	90	1,732	1,711	106,981	86	86	86	86	219	218
40	和泉フリースポーツ会	186	1,711	1,708	171,060	87	87	87	87	29	29
41	和泉フリースポーツ会	117	841	653	83,400	88	88	88	88	211	211
42	和泉フリースポーツ会	56	490	480	24,120	89	89	89	89	1,587	1,559
43	和泉フリースポーツ会	35	253	255	19,155	90	90	90	90	2,126	2,107
44	和泉フリースポーツ会	29	539	525	39,600	91	91	91	91	39,047	38,435
45	和泉フリースポーツ会	105	801	808	51,180	92	92	92	92	39,477	38,435
46	和泉フリースポーツ会	89	873	873	38,500	93	93	93	93	34,777	33,074
47	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	94	94	94	94	0	0
48	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	95	95	95	95	0	0
49	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	96	96	96	96	0	0
50	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	97	97	97	97	0	0
51	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	98	98	98	98	0	0
52	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	99	99	99	99	0	0
53	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	100	100	100	100	0	0
54	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	101	101	101	101	0	0
55	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	102	102	102	102	0	0
56	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	103	103	103	103	0	0
57	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	104	104	104	104	0	0
58	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	105	105	105	105	0	0
59	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	106	106	106	106	0	0
60	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	107	107	107	107	0	0
61	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	108	108	108	108	0	0
62	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	109	109	109	109	0	0
63	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	110	110	110	110	0	0
64	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	111	111	111	111	0	0
65	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	112	112	112	112	0	0
66	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	113	113	113	113	0	0
67	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	114	114	114	114	0	0
68	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	115	115	115	115	0	0
69	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	116	116	116	116	0	0
70	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	117	117	117	117	0	0
71	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	118	118	118	118	0	0
72	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	119	119	119	119	0	0
73	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	120	120	120	120	0	0
74	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	121	121	121	121	0	0
75	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	122	122	122	122	0	0
76	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	123	123	123	123	0	0
77	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	124	124	124	124	0	0
78	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	125	125	125	125	0	0
79	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	126	126	126	126	0	0
80	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	127	127	127	127	0	0
81	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	128	128	128	128	0	0
82	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	129	129	129	129	0	0
83	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	130	130	130	130	0	0
84	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	131	131	131	131	0	0
85	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	132	132	132	132	0	0
86	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	133	133	133	133	0	0
87	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	134	134	134	134	0	0
88	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	135	135	135	135	0	0
89	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	136	136	136	136	0	0
90	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	137	137	137	137	0	0
91	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	138	138	138	138	0	0
92	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	139	139	139	139	0	0
93	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	140	140	140	140	0	0
94	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	141	141	141	141	0	0
95	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	142	142	142	142	0	0
96	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	143	143	143	143	0	0
97	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	144	144	144	144	0	0
98	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	145	145	145	145	0	0
99	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	146	146	146	146	0	0
100	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	147	147	147	147	0	0
101	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	148	148	148	148	0	0
102	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	149	149	149	149	0	0
103	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	150	150	150	150	0	0
104	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	151	151	151	151	0	0
105	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	152	152	152	152	0	0
106	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	153	153	153	153	0	0
107	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	154	154	154	154	0	0
108	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	155	155	155	155	0	0
109	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	156	156	156	156	0	0
110	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	157	157	157	157	0	0
111	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	158	158	158	158	0	0
112	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	159	159	159	159	0	0
113	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	160	160	160	160	0	0
114	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	161	161	161	161	0	0
115	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	162	162	162	162	0	0
116	和泉フリースポーツ会	130	1,091	1,091	38,500	163	163	163			

文書発言用紙

1993. 4. 4

発 言 者 氏 名	年 齢	性 別	患 者 会 名

住 所 〒

TEL

発言の要旨

昭和四十一年八月七日第三種郵便物認可
 一九九三年二月二十七日発行
 一S 毎月六回一の日の日発行

行所 身体障害者団体定期刊行物協会
 東京都世田谷区站6-26-21

頒価百円